

しのっ子たちの「本との出会い」を応援する 読書活動推進ボランティア 2023度～2024年度・春の活動ニュース

●朝の読み聞かせ活動

毎週木曜日の朝は、地域ボランティアさんによる読み聞かせ活動が行われています。朝8時15分から10分程度ですが、子どもたちにとってはいろいろな本やおはなしに出会える楽しい時間です。



●図書館司書さんによる「ストーリーテリング」

図書館司書さんが子どもたちに楽しいお話を届けに来てくださいました。絵本の絵を見ながら…とはちょっと違う、語り手のお話を耳だけで聞く「ストーリーテリング」(素話)。こどもたちは、わくわく、どきどきしながら、真剣なまなざしでお話の世界に入り込んでいました。他にも、「このかみなあに?」「かようびのよる」など楽しくて不思議な絵本の紹介などもあり、朝の読み聞かせボランティアさんも見学しました。

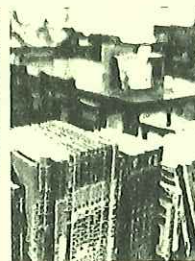


●図書室の整理

前年度から、図書室の本がバーコードによるパソコンでの管理に変更されました。

地域にお住いの司書ボランティアさんは、子どもたちが本を見やすいように並びかえたり、少しでも手に取りやすくなるように展示や整理をしてくださっています。

また、情報の古い本を新しい本に入れかえるなど、子どもたちの学びや成長に役立つ図書室づくりをご支援いただいています。おかげで休み時間には、たくさんの子どもたちが図書室に集まっています!



●しのっ子わくわくサロンを開催

毎週水曜日はロング昼休み!給食が終わると、子どもたちの元気な声が学校中に飛び交っています。そんな中、読み聞かせボランティアのみなさんは、年に数回この時間をつかって、子どもたちがわくわくするようなサロンを企画・開催しています。



これまでに開催した「百科事典

にふれてみよう! 動物のふしぎ」「スイーツ博士になろう～お菓子のひみつ～」 「トリックアートの世界」などのサロンは、子どもたちに大人気! 次回は9月4日(水)を予定しています。ぜひ楽しみにしてください。

●ボランティア募集中!

読書活動推進チームでは、子どもたちの「本との出会い」を応援するボランティアの仲間を募集しています。

「本に興味がある方」「ボランティアをやってみたい」と思われる方は、ぜひ学校までご連絡ください。

紹介します!

「夏休みにおすすめの本」

もうすぐ夏休みがはじまります。ひと夏の思い出に読書はいかがですか? 野洲図書館さん発行の「ほんはともだち」より、いくつかご紹介します。

『ホネホネたんけんたい』(アリス館)

西澤真樹子/監修・解説

大西成明/しゃしん 松田素子/ぶん

くねくねぐにやぐにやわらかくても、

ちゃんとしっぽのさきまでホネがあるヘビや、やわらかな

からだをまもるため、かたいこうらをもっているカメなど、

いろいろなどうぶつのホネを見てみましょう。ホネのふしぎやひみつがわかります。



『かせいじんのおねがい』というひろし/作(童心社)

いえにかえるとちゅうで、ぼくは、おじさんによびとめられた。

おじさんは、ちきゅうでしゅぎょうをしていた、かせいじんだと

いう。そして、ぼくがおじさんの話を信じて、

「おじさんが火星にかえれますように」と

心からねがえば、おじさんのしゅぎょうは

おわるらしいのだけど…。



※野洲図書館発行「とくばんほんはともだち2024年夏号」参照